



山陰海岸ジオパーク



<https://www.suna-r.com/>

## 鳥取 砂のルネッサンス2020

| 報告書 |

鳥取砂のルネッサンス実行委員会





## 砂のルネッサンス 2020を終えて

砂のルネッサンス実行委員会  
委員長

田淵 裕章

砂像文化の醸成と砂の魅力の可能性を広げることを目的として、熱意ある市民が中心となって立ち上げた砂のルネッサンス実行委員会の活動は、今期で四年目の取組となりました。しかしながら、年度当初から新型コロナウイルスの感染症拡大により活動も制限されることが多々あり、当初画いていた事業計画に関しては、残念ながら予定通りに執行することはできませんでした。駅前で更に大きなすなばを出現させ、より多くの親子に砂の魅力を伝え、砂に触れる機会を増やし、砂のファンを更に拡大させ、砂の文化を育んでいくことを目標にしていたのですが、イベントの開催自体を自粛せざるを得ない状況に陥ってしまいました。それでも委員会メンバーは歩みを止めることなく、「こんな時だからこそ出来ることを精いっぱい行おう」と知恵を振り絞って最大限の活動を行ってきた一年となりました。

年当初の事業計画を再度見直し、感染症予防の指針に従いつつ出来ることはなんだろうか?不確実な情報に振り回され、決めるには崩れ方向転換を余儀なくされ続けました。そんな中、オンライン上で砂の魅力を発信することを選択し、YOUTUBEとInstagramを活用し、砂像彫刻やすなば遊びの魅力発信とブランディングを行い、鳥取砂丘の砂のファンを拡大する活動に尽力いたしました。また、委員会メンバーをはじめとする関係者のスキルアップ向上を目的に、ポーネルドのスタッフの方にご協力をいただきブレイリーダー研修会も複数回行い、知識レベルの向上にも取り組みました。そして、コロナ禍で暗いムードが漂うこんな時だからこそ、世の中に勇気と希望を与えるべく実行委員会メンバーをはじめとする鳥取市民にご協力をいただき、風神雷神の疫病退散砂像を鳥取駅前風紋広場に作製し、鳥取市民と県外来訪者の方へ砂像の魅力を発信することが出来ました。多くのマスコミにも取り上げていただき、鳥取の砂像彫刻を県内外に広く発信することが出来ました。そして年度の最後に達成すべくビジョンを明確にし、来年度以降も活動を行っていくことを約束しあった一年でありました。活動の制限を余儀なくされ続けましたが、実行委員会メンバーの創意工夫と積極果敢な活動により、「砂のまち鳥取」実現へ向けて着実に一歩も二歩も前進した一年とすることができました。

最後になりましたが、世界が新型コロナに翻弄され続けた大変な一年に全力で活動にご協力頂きました委員会内外の関係者の皆様へ心より感謝を申し上げます。来年度はよりダイナミックな活動を行い、鳥取砂丘の砂の魅力をより多くの人へ伝え、砂像彫刻とすなばの文化を発展させていくことを宣言いたしまして、私からのあいさつに代えさせていただきます。ありがとうございました。



### コロナ復興砂像制作/展示

「悪疫退散!風神雷神砂像」をテーマに、鳥取砂丘砂像連盟の協力のもと、実行委員会メンバーが砂像制作を実施。

**2020年10月16日(金)～10月27日(火)**

会場 : 風紋広場  
制作 : 鳥取砂のルネッサンス実行委員会メンバー  
協力 : 鳥取砂丘砂像連盟  
展示期間 : 11月1日(日)～11月17日(火)

### コロナ復興砂像お披露目イベント

**2020年11月1日 13時30分～14時00分**

会場 : 風紋広場  
参加者 : 鳥取市長、鳥取市関係者、砂のルネッサンス実行委員会メンバー、聖神社  
報道関係者: 日本海新聞社・日本海テレビ・BSS

### あそびのすなば2020

【砂遊びの魅力発信】

子育て情報誌「come come mama(2020年9・10月号)」への記事掲載 / 砂遊びに関するアンケート実施  
タウン情報誌「うさぎの耳(2020年10月22日発行)」への記事掲載

【Instagram小さな砂像選手権】

近所のすなばでサンドアートを楽しめる、簡単な作り方のレクチャー動画を配信。  
実際に作ってもらった作品を、Instagramで応募してもらい選手権を実施。

**2020年10月上旬～2020年12月**

動画配信  
サンドアートテーマ : 「うさぎ」「お城」「すなださん」をつくってみよう

### ブレイリーダー育成勉強会

実行委員会メンバーが、子どもたちの遊びを支える「ブレイリーダー」について、また鳥取のブレイリーダー像を学ぶ、勉強会を実施。

**2020年9月下旬～2021年2月中旬 計5回**

講師 : (株)ポーネルド 永山 隆太氏

### 幼保キャラバン

幼稚園保育園が抱える、園のすなばや砂場保育に対する課題解決を図るにあたり、現状のアンケート調査、鳥取県教育委員会との意見交換会を実施。

**2020年8月～9月中旬**

アンケート回答 : 鳥取市内幼稚園・保育園 44園から回答 (砂場がない2園含む)

**2021年1月25日(月)**

【鳥取県教育委員会との意見交換会】

### 未来のイメージビジョン制作

鳥取砂のルネッサンスが想い描く、鳥取市の未来。そのビジョンを制作。





コロナ復興砂像制作

2020年10月16日(金)～10月27日(火)

会場 : 風紋広場  
 制作 : 鳥取 砂のルネッサンス実行委員会メンバー  
 協力 : 鳥取砂丘砂像連盟・認定こども園とっとり第一幼稚園・第二幼稚園  
 展示期間 : 11月1日(日)～11月17日(火)

概要

コロナ禍の今、鳥取砂のルネッサンス実行委員会にできることとして、悪疫退散を願い、風神雷神を砂像で製作しました。風神雷神の砂像の裏側には、幼稚園児に描いて貰った砂絵も一緒に掲示。早くコロナが収束し、思いっきり砂遊びが出来る未来が来ます様にと願いをこめました。砂像完成後には、報道関係者へのお披露目会として、風神雷神の砂像と子供の砂絵を前に、麒麟獅子の演舞と神主の祈禱を実施。砂像を通して、鳥取のまちが元気になるようメッセージを発信しました。



コロナ復興砂像お披露目イベント

2020年11月1日 13時30分～14時00分

会場 : 風紋広場  
 参加者 : 鳥取市長、鳥取市関係者、砂のルネッサンス実行委員会メンバー、聖神社  
 報道関係者 : 日本海新聞社・日本海テレビ・BSS

当日の流れ

13:30 ~ 13:35	開会の挨拶
13:35 ~ 13:45	麒麟獅子の演舞
13:45 ~ 13:55	聖神社神主様による祈禱
13:55 ~ 14:00	閉会の挨拶

- メディア関係者を集め、コロナ禍であっても身近に砂像が出来た事を市民へ向けて発信。
- 夜も砂像を楽しんで貰える様に、ライトアップ等の実施。
- 製作の様子を撮影。完成までの工程、メッセージを添えた動画を制作/公開することで、「来年一緒に遊びましょう」という思いも、砂像を通して伝えました。



動画再生回数 25回(2021.3月中旬現在)

掲載メディア: 日本海新聞・読売新聞・毎日新聞・日本海テレビ・BSS・TSK





砂遊びの魅力発信

子育て情報誌「come come mama(2020年9-10月号)」

記事掲載  
砂遊びに関するアンケート実施

タウン情報誌「うさぎの耳(2020年10月22日発行)」

記事掲載



「come come mama」28,000部発行/アンケート102人回答



「うさぎの耳」113,000部発行

Instagram小さな砂像選手権

2020年10月上旬～2020年12月

- ツール : YOUTUBE & Instagram
- サンドアートテーマ : 「うさぎ」「お城」「すなださん」
- 選手権応募資格 : 誰でも可能
- 選手権応募部門 : 幼児の部 / 小学低学年 / 小学高学年 / 幼保園の部



概要

昨年行った「あそびのすなば」イベントが行えない中、近所のすなばでサンドアートを楽しんでもらうため、簡単なサンドアートの作り方をレクチャーする動画をYOUTUBEにて配信。実際に作ってもらった作品を、Instagramで応募してもらい選手権を実施。

動画配信 視聴再生回数  
「鳥取砂のルネッサンス2020について」……137回  
「小さな砂像選手権 応募方法」……364回  
「砂でつくれる“うさぎ”篇」……107回  
「砂でつくれる“お城”篇」……217回  
「砂でつくれる“すなださん”篇」……67回  
892回再生(2021.3月中旬現在)



タイトル「すなだ」



タイトル「雪の中のうさぎ城」



タイトル「ケーキのお城」



タイトル「お城」



タイトル「うさぎ」

選手権応募数  
幼児の部……12作品  
小学低学年……2作品  
小学高学年……3作品  
幼保園の部……7作品  
合計 24作品応募

選手権募集:WEB広告

2020年10月下旬～2020年12月中旬

Google/Yahoo ディスプレイ広告  
Facebook広告  
Instagram広告



公式キャラクター Instagram

砂像選手権の作品応募先として、公式キャラクター「すなださん」アカウントを使用。砂遊びの魅力発信や、砂像選手権についての案内や、応募作品のリポストも実施。

フォロワー数 312名増加(2020年度)



プレイリーダー育成勉強会

2020年9月下旬～2021年2月中旬 計5回

使用ツール: ZOOM

概要

実行委員会メンバーが、子どもたちの遊びを支える「プレイリーダー」について、また鳥取のプレイリーダー像を学ぶ、勉強会を実施。



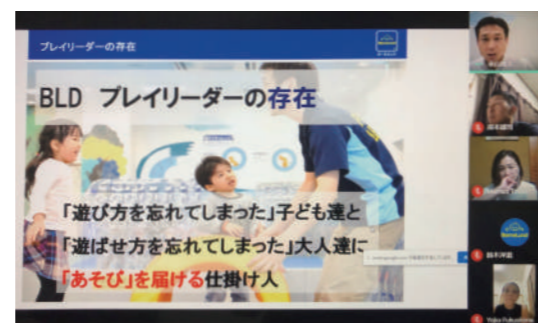
【プレイリーダー育成勉強会】

講師 (株)ボーンランド 永山 隆太氏  
株式会社ボーンランド

遊環境事業部・次長(あそび場運営担当)指定管理業務  
京都市交流促進・まちづくりプラザの運営責任者他、  
ボーンランドがプロデュースする  
あそび場の運営アドバイザー

日程

2020年	09月21日(月) 20:00～	プレイリーダーになるための心構え「遊び」と「娯楽」の違い
	10月19日(月) 20:00～	あそびの力 「非認知的能力」
	11月16日(月) 20:00～	プレイリーダーの役割 「子どもの発達:成長を支える」
2021年	01月18日(月) 20:00～	子どもとのコミュニケーション 「声掛けの方法」
	02月15日(月) 19:00～	総まとめ 「鳥取が目指すプレイリーダー像とは」



2019年、約1,000人の来場者を呼び込んだ「あそびのすなば」集客理由のひとつとして、(株)ボーンランドのプレイリーダーという「遊びを広げる」存在がいたことが来場者を伸ばした一つのヒントだと我々は考えました。たかが砂遊び、されど砂遊び、砂遊びは子どもたちの発達の大きな一助となります。現在、子ども達のコミュニケーション能力や創造力の低下が問題視されるようになり、幼児教育でも「遊びきる」ことの大切さが注目されはじめました。鳥取には世界に誇る「砂」があり「砂像」という芸術があります。鳥取の「砂」で、鳥取独自のプレイリーダーを活かした砂の共有・多世代交流を通し、鳥取の未来そして子ども達の未来を創造できる活動を今後展開していきたいと考えます。

2021年以降の取り組み目標

鳥取独自のプレイリーダー像を確立し、鳥取大学の学生とも連携。  
幼稚園や保育園をまわる「キャラバン」、「すなばようちえん」を通し、プレイリーダーの存在価値について追求していきます。

幼保キャラバン

2020年9月中旬

[市内保育園、幼稚園へのすなばに対するアンケート実施]

2021年1月25日(月)

[鳥取県教育委員会との意見交換会]

概要

幼稚園保育園が抱える、園のすなばや砂場保育に対する課題解決を図るにあたり、現状をアンケートにて調査。加えて、鳥取県教育委員会との意見交換会を実施。

アンケート ■回答/鳥取市内44園(砂場がない2園含む) ■目的/各園の砂場保育の現状と課題を知る

アンケート結果と、そこから読み取れる砂場保育の課題

- 保育における砂場保育の意義について(回答:とても大事63%・大事34%)  
→砂場保育には子どもの成長や発達を促す効果があると、全ての園から回答を得られた。
- 砂場保育の展開について(回答:物足りなさを感じている29%・新たな展開の可能性を模索している22%)  
→砂場遊びのマンネリ化やダイナミックに遊べるほどの砂場環境が整っていないこと、その可能性やニーズが半数以上の園から得られた。身近にある砂丘で存分に遊ばせられる機会を創ってほしいとの声も上がった。
- 砂場保育に関する研修への希望について(回答:研修があった方がよい90%)  
→遊びのバリエーションを増やせるような実践研修や若い先生向けの研修会や、他園や専門家との情報交換を含む研修会を希望する声が多く上がるなど、保育者が学べる機会を欲している結果となった。

2021年度の取り組みについて

アンケート結果を受けて

- 実践研修会を実施し、遊びのレパートリーを増やし保育に活かしていただく。
- 幼保キャラバンを通して、年齢に合わせた遊びなどを展開。  
年長クラスでは、砂遊びからアートにつながる遊びを通し、子どもたちや先生方へサンドアートを創ることの楽しさや、砂像文化への関心を高める一助に繋げる。
- 活動発表会等を実施し、他園の砂場保育活動を知る機会、情報を交換する機会の場をつくり、園の保育課題解決につなげていくことでより砂場保育を活発化していく。

今後の目標

- 砂場保育の意義は、どの園も感じていることであり、日ごろ砂あそびができる屋根付き常設砂場を設置。  
ダイナミックな遊びと雨の日でも親子で楽しめる施設とし、大きな砂場である砂丘近く、西側エリアへの設置を想定。
- 幼保キャラバンを継続していく中で、砂場保育がより活発に実施できるよう、園の砂場環境を徐々に整えていく。

鳥取県教育委員会との意見交換会

参加者: 鳥取県教育委員会事務局	次長	森田 靖彦氏
鳥取県土整備部技術企画課 土木防災担当	主事	今井 昂氏
鳥取県教育委員会事務局 社会教育課	課長	島田 真紀子氏
鳥取県教育委員会事務局 小中学校課指導担当	指導主事	坂根 千恵氏
鳥取県教育委員会事務局 特別支援教育課	指導主事	勝田 浩司氏

鳥取砂のルネッサンス実行委員会	実行委員長	田淵 裕章
鳥取砂のルネッサンス実行委員会	副実行委員長	遠藤 理恵
鳥取砂のルネッサンス実行委員会	委員	岸本 雄司

鳥取県が実施している「ふるさとキャリア教育」について知識を深め、今ある「教育課題」と「砂遊び」や「アート」が解決を生む糸口にならないか模索するための意見出しを行う

2021年以降の取り組み目標

各課と連携しそれぞれの課題と向き合い、まずは遠足や放課後を使い砂遊びから実験を行なっていく。



第5回福島「砂」シンポジウムにパネリストとして参加



**2021年3月7日(日) 13:00～16:00**  
 【主催】 ・NPO法人福島SAND-STORY  
 【参加団体】 ・NPO法人福島SAND-STORY ・棚倉市教育委員会  
 ・NPO法人いわき鳴き砂を守る会・鉾路市こども遊学館  
 ・鳥取砂のルネッサンス実行委員会

【実行委員会参加メンバー(パネリスト)】  
 実行委員長 田淵 裕章  
 「鳥取における砂の遊びとアート活動」  
 副委員長 遠藤 理恵  
 「砂がなくなれば地域連携」

イベント参加申込者 50名

概要

2017年からの約5年の活動報告および今後の展望について発表。  
 「砂は子どもを育て、人と人をつなぎ、町や地域をつくる原動力となる」  
 (福島SAND-STORYホームページより引用)  
 ことを全国4団体で改めて再認識したシンポジウムとなった。

未来のイメージビジョン制作



鳥取砂のルネッサンスが想い描く、鳥取市の未来。鳥取市全体が砂のまちになります。砂に特化し、砂というコンテンツで市民が生活を豊かにするまち。それは教育から始まり、観光を起点とした経済活動、そして生活の中にまで砂にあふれ共に生きるまち。砂だからこその、遊び方、ものづくり、健康、スポーツ、建築、アート。ありとあらゆる砂にちなんだコンテンツがまちにあふれ、市民も砂を誇りに、楽しむことのできるまち。そんなまちを私たちは実現します。

実行委員会メンバー

委員長 田淵 裕章【(株)田淵金物】  
 副委員長 野村 亮介【(有)開拓ノムラ看板工房】  
 副委員長 遠藤 理恵【MOTHER's WEDDING.】  
 事務局長 尾前 康寛【(株)日本海プラザ】  
 監事 松尾 真司【鳥取砂丘 砂の美術館】  
 監事 山根 弘司【鳥取大砂丘観光協会】

実行委員(50音順)

池原 正樹 【(株)モルタルマジック様】  
 石上 直樹 【(株)プロシード】  
 石塚 康裕 【(一社)麒麟のまち観光局】  
 岡野 巧 【鳥取砂丘砂像連盟】  
 岡部 豊 【鳥取砂丘 砂の美術館】  
 岸本 雄司 【(一社)すなばスポーツ】  
 段塚 俊彦 【ビストロ&バーおれんち】  
 中井 史生 【(有)アドセンターパル】  
 中井 みずほ 【Tottori Mama's】  
 西川 昌孝 【(西川)ピアノ調律所】  
 西山 雄一郎 【(株)西山家具】  
 林 貴文 【(はやし)整骨院】  
 福島 葉子 【hair/nico】  
 諸吉 稔 【株式会社TSP】  
 山根 光彦 【(有)アドセンターパル】

オブザーバー

鳥取市役所  
 観光・ジオパーク推進課

